



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	834	26.9	214	51.1	216	50.3	144	65.9
26年9月期第1四半期	657	—	142	—	144	—	87	—

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 149百万円 (71.0%) 26年9月期第1四半期 87百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	22.37	21.51
26年9月期第1四半期	15.46	—

- (注) 1. 当社は、平成26年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 平成26年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 3. 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	2,083	1,488	71.4	228.03
26年9月期	1,894	1,382	73.0	213.80

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,487百万円 26年9月期 1,382百万円

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,624	13.1	246	△8.0	242	△7.0	140	△12.7	21.39
通期	3,333	13.5	460	1.7	453	3.6	277	1.2	42.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	6,526,000株	26年9月期	6,466,500株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	－株	26年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	6,467,146株	26年9月期1Q	5,640,000株

（注）当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、増税に伴う駆け込み需要の反動などの影響も全体として和らぎ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済は一部に緩慢さを残しつつも先進国を中心に回復し、輸出に持ち直しの動きがみられるとともに、企業の設備投資は、企業収益が改善するなかで、緩やかな増加基調となりました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えてストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動車分野で注目されている車載向け先進運転支援システム関連の案件が拡大したほか、医療機器や製品製造検査装置向けの組み込みソフトウェア案件及び金融分野やビッグデータ分野を対象とした高速シミュレーションシステム案件について、継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、長期継続が見込める半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が引き続き拡大しております。また、自社商品である「M³ (エム・キューブ) ソリューション」の開発及び営業にも注力しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。また、次期重点戦略事業と位置づけている大容量高速ストレージについては、当第1四半期より製品販売を開始し、順調に事業活動を進めております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc. が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、グローバルな事業展開のための市場調査を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、834,476千円（前年同期比26.9%増）、営業利益214,908千円（前年同期比51.1%増）、経常利益216,703千円（前年同期比50.3%増）、四半期純利益144,666千円（前年同期比65.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア分野及び産業機器分野では、医療機器、製品製造検査装置及び車載機器向けに、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理を実現するソリューションを提供しております。モバイル分野においては、半導体メーカー向けのメモリコントロールのためのファームウェアやデバイスドライバの開発を中心に、長期継続的なサービスを提供しております。金融分野では、大手銀行や証券会社のリスク管理等のシミュレーション高速処理のためのソリューションを中心に、安定的かつ継続的にサービス提供しております。

モバイル分野及び産業機器分野において案件が拡大し、その結果、売上高は、649,442千円（前年同期比42.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、195,646千円（前年同期比49.4%増）となりました。

(ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が期初計画通り順調に推移し、その結果、売上高は、185,033千円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、19,262千円（前年同期比56.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて189,843千円増加し、2,083,984千円となりました。これは、売掛金が97,067千円、商品及び製品が119,079千円、原材料が99,242千円、投資有価証券が39,128千円増加した一方で、現金及び預金が168,922千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて84,258千円増加し、595,865千円となりました。これは、買掛金が234,716千円増加した一方で、役員賞与引当金が63,000千円、未払法人税等が61,286千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて105,585千円増加し、1,488,119千円となりました。これは、資本金が16,825千円、資本剰余金が16,825千円、利益剰余金が67,068千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成26年11月10日付の「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,097	777,174
売掛金	697,188	794,256
商品及び製品	7,599	126,678
仕掛品	12,068	21,545
原材料	—	99,242
繰延税金資産	33,975	18,190
その他	31,929	42,217
流動資産合計	1,728,857	1,879,304
固定資産		
有形固定資産	34,520	33,865
無形固定資産		
その他	27,215	28,777
無形固定資産合計	27,215	28,777
投資その他の資産		
投資有価証券	—	39,128
繰延税金資産	965	809
敷金及び保証金	102,370	101,925
その他	211	174
投資その他の資産合計	103,547	142,037
固定資産合計	165,283	204,680
資産合計	1,894,141	2,083,984
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,612	321,329
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払法人税等	120,850	59,564
賞与引当金	43,943	24,072
役員賞与引当金	63,000	—
その他	137,199	130,898
流動負債合計	481,607	565,865
固定負債		
社債	30,000	30,000
固定負債合計	30,000	30,000
負債合計	511,607	595,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,968	507,793
資本剰余金	396,968	413,793
利益剰余金	497,135	564,203
株主資本合計	1,385,072	1,485,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,663
為替換算調整勘定	△2,538	176
その他の包括利益累計額合計	△2,538	1,839
新株予約権	—	490
純資産合計	1,382,534	1,488,119
負債純資産合計	1,894,141	2,083,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	657,416	834,476
売上原価	401,748	466,559
売上総利益	255,667	367,916
販売費及び一般管理費	113,456	153,008
営業利益	142,210	214,908
営業外収益		
為替差益	3,204	2,278
その他	—	82
営業外収益合計	3,204	2,360
営業外費用		
支払利息	985	410
支払保証料	244	155
その他	11	—
営業外費用合計	1,241	566
経常利益	144,173	216,703
税金等調整前四半期純利益	144,173	216,703
法人税、住民税及び事業税	39,990	57,016
法人税等調整額	17,007	15,021
法人税等合計	56,997	72,037
少数株主損益調整前四半期純利益	87,176	144,666
四半期純利益	87,176	144,666

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,176	144,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,663
為替換算調整勘定	8	2,714
その他の包括利益合計	8	4,377
四半期包括利益	87,184	149,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,184	149,043

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	454,718	202,697	657,416	—	657,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,960	—	5,960	△5,960	—
計	460,679	202,697	663,376	△5,960	657,416
セグメント利益	130,943	12,305	143,249	△1,038	142,210

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	649,442	185,033	834,476	—	834,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	649,442	185,033	834,476	—	834,476
セグメント利益	195,646	19,262	214,908	—	214,908

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。